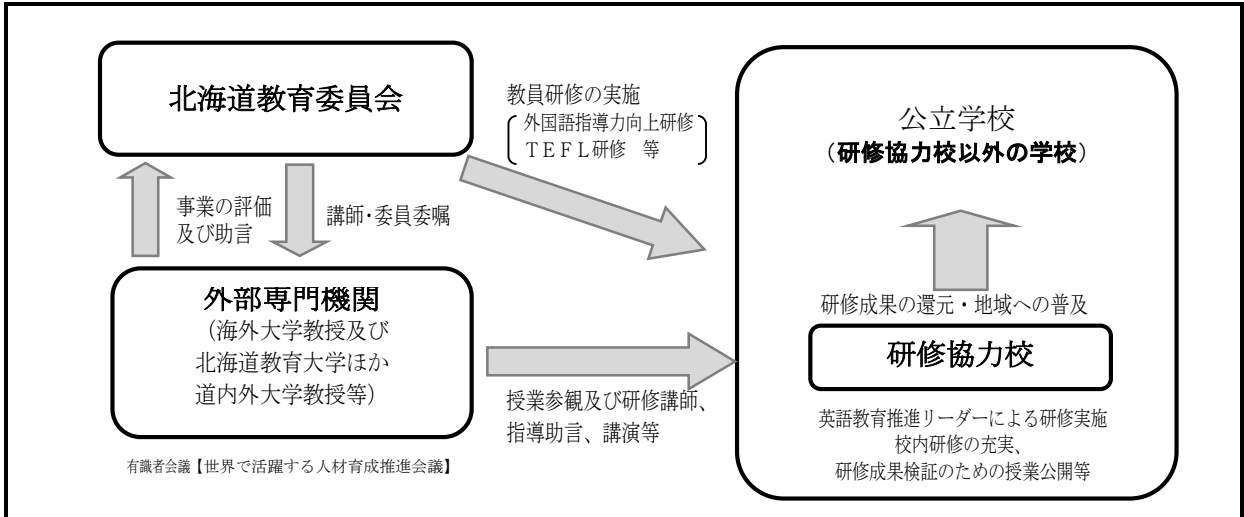


北海道英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

□ 「英語教育実施状況調査」結果を踏まえた目標・数値指標の設定について

平成29年度「英語教育実施状況調査」における北海道の現状は、次のとおり。

- ・求められる英語力を有する教師の割合 … 中 33.1% 高 50.7% (中 27.1% 高 49.3%)
 - ・求められる英語力を有する生徒の割合 … 中 32.8% 高 36.9% (中 26.9% 高 35.2%)
 - ・学習到達目標の設定状況 … 中100.0% 高100.0% (中 93.0% 高 85.2%)
- (カッコ内はH28実績)

昨年度における同調査結果と比較すると、中学校においては、全ての項目について向上している。

また、高等学校においては、生徒の英語力と教員の英語力が向上するとともに、CAN-D Oリストの設定状況は100%となった。今後、生徒の英語力及び教員の英語力の目標を達成するためには、様々な取組を進めていく必要がある。

このような課題等がみられることや、本道の英語教育に関する平成29年度までの目標値及び国が示す目標を踏まえ、「目標管理書」(様式10)のとおり設定し、次の施策を講じる。

□ 目標達成に向けた手立てについて

① 求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

- ・中央研修へ参加する教員を全道各地からバランスよく選出し、育成された英語教育推進リーダーによる研修を全道各地で計画的に実施することにより、地域による偏りのない英語指導力の底上げを図るとともに、指導主事の学校教育指導等を通じて、学習別到達目標を活用した授業改善等について指導助言する。
- ・道立教育研究所において、カナダ・アルバータ州立大学教授を講師に招聘してオールイングリッシュで研修するTEFL (Teaching English as a Foreign Language) 研修講座の内容の充実を図り、参加教員の英語運用能力の向上を図るとともに、各地域の研究会等での還元を促す。
- ・道立教育研究所の外国語研修講座及び各種研修会に参加する英語担当教員に対し、外部検定試験の助成制度を周知するとともに、英語教育推進リーダーによる研修終了後に外部検定試験を設定するなどして受験を促し、英検準1級、TOEFL iBT80点程度等以上の達成を目指す。
- ・資格試験団体と連携し、教員の資格取得を促進する新たな支援策を検討する。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、英語担当教員に対して、積極的な資格取得を促す。

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

- ・授業における英語担当教員の英語使用状況の改善や生徒の英語による言語活動時間を増加させることで、授業を通じて英語力の向上を図る。
- ・中学校の教員に対しては、毎年、全教職員に配付している「教育課程改善の手引」や英語教育の中核となる教員を対象に実施している「教育課程改善協議会」において、また、高等学校の教員に対しては、「教育課程編成・実施の手引」や「教育課程研究協議会」において、今後求められる授業改善や生徒の英語力等について周知するとともに、指導主事の学校教育指導等において、生徒の英語力向上に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、生徒に求められる英語力について、英語担当教員に対して周知し、授業改善を図るとともに、適切な評価方法の検討などを行うよう指導助言するとともに、優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問等において情報提供する。
- ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を測定するパフォーマンステストやCAN-DOリストを活用することにより、具体的な授業改善につながるPDCAサイクルを確立するよう指導助言する。

③「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

- ・道立教育研究所の外国語指導力向上研修講座において、学習到達目標の作成と活用の講座を設け、受講者の理解を深める。
- ・中学校の教員に対しては、毎年、全教職員に配付している「教育課程改善の手引」や英語教育の中核となる教員を対象に実施している「教育課程改善協議会」において、また、高等学校の教員に対しては、「教育課程編成・実施の手引」や「教育課程研究協議会」において、学習到達目標の設定と公表及びCAN-DOリストを活用した学習到達状況の把握について取り上げ、今後求められる授業改善や英語担当教員の指導力等について周知するとともに、指導主事の学校教育指導等において、設定状況等を確認し、改善に向けた指導を行う。
- ・研究協力校で作成したCAN-DOリストの形式での学習到達目標について、公開授業及び研究協議や、大学教授等の有識者等で構成する町内の英語教育推進会議、北海道世界で活躍する人材育成推進会議で助言を得ながら、改善を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、CAN-DOリストの形式での学習到達目標やその活用について指導助言するとともに、優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問等において情報提供する。

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

- ・中学校の教員に対しては、「教育課程改善の手引」や「教育課程改善協議会」において、また、高等学校の教員に対しては、「教育課程編成・実施の手引」や「教育課程研究協議会」において、生徒の英語による言語活動の充実について取り上げ、今後求められる授業改善や英語担当教員の指導力等について周知するとともに、指導主事による学校教育指導等において、改善に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、生徒の英語力向上に向けた授業改善を図るよう指導助言するとともに、優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問において情報提供する。

⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

- ・道立教育研究所の外国語教育関連講座において、パフォーマンステストの実施について指導し、各学校への普及を促す。
- ・「教育課程改善協議会」や「教育課程研究協議会」において、パフォーマンステストの実施について取り上げ、周知するとともに、指導主事の学校教育指導等において、実施状況等を確認し、改善に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、生徒の英語力を適切に把握するため、パフォーマンステストを行うよう指導助言する。

⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況

- ・「教育課程改善の手引」や「教育課程改善協議会」において、今後求められる授業改善や英語担当教員の指導力等について周知するとともに、指導主事による学校教育指導等において、改善に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、授業を英語で行うことを基本とすることについて指導助言するとともに、優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問において情報提供する。

⑦相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合

- ・道立教育研究所において、TEFL研修講座等、外国語指導力向上研修講座の内容の充実を図り、参加教員の英語運用能力の向上を図るとともに、各地域の研究会等での還元を促す。
- ・各小学校に中核教員の育成を目的とした研修講座を開設し、英語教育推進リーダーによる講座等を実施することにより、地域による偏りのない英語指導力の底上げを図るとともに、校内研修の充実により、他の教員への波及と英語力を向上させる。
- ・小学校教員の英語力・英語指導力の強化を図るため、「小学校教員英語力アップ夏季集中セミナー」を実施し、セミナー期間中、研修施設において、集中的に英語を使い、オールイングリッシュでの生活を送ることを通して、学校や地域における小学校英語教育の中核となる教員の英語力強化を図る。
- ・道教委が実施する研修の内容を分かりやすく整理した映像資料を作成し、いつでもどこでも視聴できるオンデマンド配信を行うとともに、各学校において、校内研修で活用できるDVDを作成・配付し、研修内容を全道に普及させる。
- ・平成28年度から実施している、英語教育推進リーダー等を活用した「巡回指導教員研修事業」を拡大して実施し、学級担任とのTTや模擬授業、教員研修の企画や教員への指導助言を行う。特に高学年の教科化に対応した研修内容や方法を各学校に提示し、指導力の向上を図る。
- ・道立教育研究所の外国語研修講座及び各種研修会に参加する教員に対し、外部検定試験の助成制度を周知し、受験を促す。
- ・英検などの資格試験団体と連携し、教員の資格取得を促進する新たな支援策を検討する。

⑧研修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教員に占める割合

- ・道立教育研究所で実施する研修講座に加え、今後、中央研修等により育成される英語教育推進リーダーを講師として活用し、教育局・ブロック単位での研修を拡充して実施する。

(3) 研修の体系と内容の具体

□道教委が実施する外国語担当教員向け研修講座				
研修名	対象者	目的・内容	予定者数	実施期間
英語指導力アップセミナー	小中高教員	<p>【小学校教員対象】</p> <p>○目的 小学校における英語教育の指導の効果を高める手立てについて理解を深める講義や演習、実践発表を通して、小・中・高を通じた目標及び内容を踏まえた小学校の英語教育の充実を図る視点について理解を深め、英語指導の改善・充実に向けた指導助言の力量を高める。</p> <p>○日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>○対象者 巡回指導教員、授業改善の推進役となる小学校教員</p> <p>○開催日 12月3日(月)～5日(水)</p> <p>【中学校・高等学校英語担当教員対象】</p> <p>○目的 4技能を総合的に指導する外国語科の授業づくりについての理解を深める講義・演習を通して、生徒にコミュニケーション能力を育成する指導力を高める。</p> <p>○日数 2日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>○対象者 学校や地域において、外国語教育の授業改善の推進役となる中学校・高等学校英語担当教員</p> <p>○開催日 10月23日(火)～24日(水)</p>	小30名 中20名 高20名	小 H28～新規 中高 継続実施
「TEFL理論と実践」研修講座	小中高教員	<p>【小学校教員対象】</p> <p>○目的 4技能を扱うコミュニケーション活動の充実とオールイングリッシュで実施する講義・演習を通して、小・中・高を通じた目標及び内容を踏まえた外国語活動及び外国語の在り方について理解を深め、児童のコミュニケーション能力の基礎を確実に育む教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>○開催日 9月10日(月)～12日(水)</p> <p>○その他 アルバータ州立大学教授を講師として招聘し、オールイングリッシュで研修を実施する。</p> <p>【中学校・高等学校英語担当教員対象】</p> <p>○目的 オールイングリッシュで実施する講義・演習を通して、教員の英語力を高めるとともに、4技能を扱うコミュニケーション活動の充実や、小・中・高を通じた目標及び内容を踏まえた外国語の在り方について理解を深め、生徒のコミュニケーション能力を確実に育む教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>○開催日 8月20日(月)～22日(水)</p> <p>○その他 アルバータ州立大学教授を講師として招聘し、オールイングリッシュで研修を実施する。</p>	小30名 中10名 高10名	継続実施 (H13～)

<p>小学校教員 英語力アップ 夏季集中 セミナー</p>	<p>小 教員</p>	<p>○目的 英語力向上に中心的な役割を担う小学校教員に対し、オールイングリッシュによるワークショップ等を通して、小学校外国語活動及び英語の授業で活用できる実践的な英語力と指導力の向上を図る。</p> <p>○日数 5日間(北海道立教育研究所)×2会場</p> <p>○対象者 市町村における英語力向上に中心的な役割を担う小学校教員</p> <p>○開催日 8月7日(火)～10日(金) 8月13日(月)～16日(木)</p> <p>○その他 アルバータ州立大学教授を講師として招聘し、オールイングリッシュで研修を実施する。</p>	<p>小70名</p>	<p>H28-H30 (3年間) H28～新規</p>
<p>外国語指導 助手(ALT)等 の指導力 向上研修</p>	<p>小中高 教員 ALT</p>	<p>【道主催】</p> <p>○目的 道立学校や市町村のALT等を対象として、外国語教育に関する必要な知識や指導技術等の習得を図るとともに、外国語教育に係る諸問題についての理解を図る。</p> <p>○日数 1日間×2会場(札幌市及び帯広市)</p> <p>○対象者 外国語指導助手(ALT)、外国語活動を行っている小学校教員、中学校・高等学校の英語担当教員等</p> <p>○開催日 8月下旬～9月中旬までの2日間</p> <p>○その他 アルバータ州立大学教授を講師として招聘し、子どもの興味や関心、意欲を高める活動の演習や教員とALTとの効果的なTTの協議等について、オールイングリッシュで実施する。</p> <p>【国主催】</p> <p>○目的 道立学校や市町村のALT等を対象として、外国語教育に関する必要な知識や指導技術等の習得を図るとともに、外国語教育に係る諸問題についての理解を図る。</p> <p>○日数 2日間(札幌市)</p> <p>○対象者 外国語指導助手(ALT)、外国語活動を行っている小学校教員、中学校・高等学校の英語担当教員等</p> <p>○開催日 12月上旬または中旬を予定</p> <p>○その他 国際交流員などの外国人等を招聘し、ALTが日本の文化について理解を深めるための説明や教材の活用、指導方法に関する協議等を実施する。</p>	<p>小55名 中65名 高80名 ALT420名</p>	<p>継続実施</p>
<p>英語教育推進 リーダーに よる研修 (グローバル 化に対応した 英語指導力 向上研修)</p>	<p>小中高 教員</p>	<p>○目的 指導者養成を目的として中央研修に参加した英語教育推進リーダーの「研修実習」としての研修を実施するとともに、参加教員の指導力向上を図る。</p> <p>○日数 3日間×36会場(全道一円)</p> <p>○その他 小学校中核教員及び中・高等学校全英語担当教員を対象に、中央研修を受講した教員を研修講師として、様々な演習を中心に各校種の英語教育の高度化に対応した内容とし、全道各地で研修を実施する。</p>	<p>小 265名 中 270名 高 220名 計 755名</p>	<p>H26-H31 (6年間)</p>

計		小 450名 中 365名 高 330名 ALT420名 計 1565名
<p>上記研修のほか、初任段階教員研修や経験者研修における教科別研修や教育課程改善協議会等に関連事業と位置付け実施する。</p>		
<p>□英語力評価テストについて、英語担当教員に対し、外部検定試験の助成制度を周知し、受験を励行するとともに、英検などの資格試験団体と連携し、教員の資格取得を促進する新たな支援策を検討し、英検準1級、TOEFL iBT80点程度等以上の達成を目指す。</p>		
<p>□研修を受講した参加者をイングリッシュ・キャンプや小学校外国語活動巡回指導教員研修事業等、英語教育関連事業に積極的に活用するなど、北海道として、教員研修と英語教育関連事業との関連性を図りながら、一貫性のある取組を進める。</p>		
<p>□研修協力校において、英語教育推進リーダー（中央研修参加者）による授業公開や道内大学教授等外部専門機関から講師を招聘し、講演や指導助言等を実施することで、校内研修を充実させ、英語教員の指導力向上を図るとともに、授業参観を通して明らかになった課題や改善のための取組について、研修協力校における英語教員のみならず、北海道全体で共有を図る。</p>		
<p>□研修協力校において、外部専門機関における有識者による指導助言や講演を実施するとともに、北海道立教育研究所が開設する外国語関連研修講座に、カナダ・アルバータ州立大学教授や北海道教育大学など道内外の大学教授を講師として招聘し、講義を実施し、英語教員の英語力や指導力向上を図る。</p> <p>また、道内大学教授等有識者により、本事業内容についての検討を行う「北海道世界で活躍する人材育成推進会議」を組織し、次年度以降に向けた助言をいただき、各指標の進捗状況を踏まえ、次年度以降の英語教育改善プランの修正や事業内容の充実及び目標値の設定に反映させる。</p>		
<p>□小学校外国語活動巡回指導教員研修事業において、巡回指導教員に対して新学習指導要領を踏まえて、ミニ研修や模範授業等を実施するよう促し、ミニ研修等で作成した資料を取りまとめ、北海道の全ての小学校に提供するなどして、移行期間における外国語活動の授業改善を推進する。</p>		

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	○英語教育推進リーダー中央研修（研修実習）（～3月） ○英語検定外部試験の活用促進（～3月） ●英語教育推進リーダー中央研修（集合研修1）（～6月）	ブリティッシュ・カウンシル
5月		
6月		
7月		
8月	○小学校教員英語力アップ夏季集中セミナー（7～10日及び13～16日） ○「TEFL理論と実践」研修講座（中・高）（20～22日） ●英語教育推進リーダー中央研修（実地研修） ○研修協力校における授業公開、指導助言（下旬） ○外国語指導助手（ALT）等の指導力向上研修（中旬～下旬で1日）	カナダ・アルバータ州立大学教授 " カナダ・アルバータ州立大学教授
9月	○「TEFL理論と実践」研修講座（小）（10～12日） ○外国語指導助手（ALT）等の指導力向上研修（上旬～中旬で1日）	カナダ・アルバータ州立大学教授 "
10月	●英語教育推進リーダー中央研修（集合研修2）（～12月） ○英語指導力アップセミナー（中・高）（23～24日） ○小・中学校の学習指導要領の着実な実施に向けた地方協議会（下旬）	ブリティッシュ・カウンシル 大学教授等学識経験者 文科省教科調査官
11月	○研修協力校における授業公開、指導助言	道内大学教授等
12月	○英語指導力アップセミナー（小）（3～5日） ○外国語指導助手指導力等向上研修会（上・中旬）	大学教授等学識経験者 道内大学教授等
1月		
2月	○研修協力校における授業公開、指導助言	道内大学教授等
3月		
【その他の取組】 ○平成28・29年度に引き続き、英語教育推進リーダー等を活用して「小学校外国語活動巡回指導教員研修事業」を実施。 ○小学校教員英語力アップ夏季集中セミナーの概要をまとめた映像資料（平成30年度版）をDVDとして作成し、全小学校及び特別支援学校小学部設置校に配付し、校内研修や各市町村での教員研修等での活用を図る。		

